

ゆざわのまち・ひと・しごと

# おらがひと

ヴァータス

Virtus※世界陸上競技選手権大会 日本代表

横手パラ陸上競技協会 佐藤 柚太 さん(22歳)

市在住。湯沢南中学校で陸上を始め、地元企業に就職後も競技を継続。各種大会で好記録を出したことで、4月に日本パラ陸上競技連盟の強化指定を受ける。10月にオーストラリア・ブリスベンで開催される「Virtus世界陸上競技選手権大会」の日本代表選手に決定、400mと1600mリレーに出場予定。自己ベストは、100m 10秒97、200m 22秒09、400m 49秒55。  
※ Virtus…国際知的障害者スポーツ連盟



## その足で世界を駆け抜けろ！

——陸上競技の魅力はどんなところですか。

個人競技ゆえに己との戦いであり、自分が主役になれるのが魅力です。結果が数字に表れるのも面白く、レースを振り返って指導者の助言を生かし、ベストを更新できたときの達成感はたまりません。

——競技と仕事をどのように両立していますか。

仕事に支障が出ないように、追い込んだ練習は土曜日に行い、日曜日はしっかり休養を取っています。また、職場の先輩は「残業しないで練習して」と応援してくれますし、会社の理解や配慮があるおかげだと感じています。



佐藤市長が激励しました



愛車と共に

——陸上以外に好きなことや趣味はありますか。

幼いころから車が大好きで、休日には愛車のトヨタ・86でドライブするのが最高の癒しです。走っているときは、レーシングカーの加速やコーナーワークをイメージしています。

——ご家族のサポートについて教えてください。

私の競技人生において家族の支えは欠かせません。色々な大会に帯同してくれること、健康面や食事面を

サポートしてくれること、いつも私を支えてくれる家族は、私にとって最強の応援団です。

——世界大会での目標を教えてください。

世界のレベルはとても高いですが、自分の走りがしっかりできるように調整して挑みます。目標は金メダルで、「日本すごい」と世界を驚かせたいです。



ご両親と柚太さん